

こころにのこる音楽をみんなで・・・

京都音楽センター NEWS

●発行

(株)京都音楽センター

〒604-8481 京都市中京区

西ノ京冷泉町118-3

Tel. 075-822-3437

Fax. 075-822-3439

ノーベル賞受賞に思う

いい科学者の条件：

時田 裕一

京都にゆかりのある人の活躍は、なぜか嬉しい気持ちになります。いまや時の人となった「益川敏英」教授のノーベル賞受賞もその一つです。

受賞後の記者会見で、「大して嬉しくない」と言ってしまう一方で、同時受賞された南部教授に話が及ぶと、「一緒に受賞できたことは最大の喜び」と涙ぐむ人間くささも披露して下さりました。

受賞後、益川先生は、文部科学省を訪れ「今の試験制度は子どもの個性を見ず、大学の先生も忙しくさせる『教育汚染』だ。現在の科学情勢の結果が出るのは二十年三十年後。基礎科学を枯れさせてはいけない」と熱く語られたそうです。

その「益川先生」が、『九条の会』のアピールを広げる科学者・研究者の会』の呼びかけ人の一人だったということとを、翌日の新聞報道で知りました。

先生は「小中学生は憲法九

条を読んで自衛隊を海外に派遣できるなんて考えない。だが、政府は自衛隊をイラクに派遣し、更に自衛隊の活動範囲を広げるために改憲を目指す。日本を戦争のできる国にしたいわけだ。僕はそんな流れを容認できない」「僕は一人一人の今の生活を守りたい。その実現に、戦争はブラスですかと問いたい。殺されたつて戦争は嫌だ。もつと嫌なのは自分が殺す側に回ることだ」と話されています。

さらに「専門外の社会的問題も考えなければいい科学者になれない。僕たちはそう学んできた」と述べられました。科学者であると同時に社会人であり、何より「人間」であることが大切だと教えていただいた気がします。

これは私たち文化に携わる者にとつても同じだと思えます。しかし、日本で歌手や俳優が政治や平和について語る違和感を持って受け止められてしまう風潮が少なからず

あります。そしてそのことは、政治は政治家まかせ。科学は科学者まかせ。と言う風にしてしまった気がします。

海外ではトップクラスのアーティストが「核」実験に対して公然と反対を表明するなど、政治にも無知でない態度をとります。そして、そのことをメディアもちゃんと報道します。社会的問題は誰しも避けて通れない問題で、そのことを考えられない専門家は、実は一流ではないとされるのでしよう。

さて、その社会的問題を考えるとき、基準とすべきは何でしょうか？

私は、「人々の命が大切にされること」ではないかと思えます。そして、「自分だけが良ければ良いと思わない」事だとも思えます。

京都音楽センターとして仕事を行うとき、いつも「この仕事は誰かに喜ばれているのか」を考えます。そして、さ

らに、「誰かの役に立っているのか？」とも考えます。それは、とりもなおさず、社会的役割を果たせているか、担えているか。ということにつながります。

一面的にはお金儲けに見えることも、それだけにどまらず、「生きる勇氣や元気をつかんでもらえる」仕事したいものです。そして、「苦しいときこそ、『一人じゃない、手をつなごう』、そして、そのことがみんなの力になっている」と伝えていきたいと思えます。

これから、年末にかけて私たちも様々な仕事に関わりまします。その一つ一つがメッセージとなり、みなさんの心に届くよう心がけたいと思えます。

これからも、京都音楽センターを応援して下さい。そして、たまにはコンサートに來たり、私たちが創る商品（歌集やCD）を使ってやって下さい。

さて、冒頭の益川先生。私が一番共感できたのは「英語が苦手」「日本語でほとんどのことは表現できる」と語られていたことでした（笑）

京都音楽センター コンサート情報

お申し込みは
京都音楽センターへ
TEL. 075-822-3437

憲法フォークジャンボリー

日時：2008年10月25日(土) 午後2時～/26日(日) 午前10時～
入場料：25日1000円/26日2000円/通し2700円(障がい者・中高生半額)
会場：京都 円山公園音楽堂
出演：笠木透と雑花塾/高石ともや/趙博/野田淳子/他全国からの出演者が多数
主催：'08 憲法フォークジャンボリー実行委員会

源氏夢幻 - 紫式部『源氏物語』より -

脚本=富士谷あつ子
演出=今中友子

日時：2008年11月28日(金) ①午後7時開演
2008年11月29日(土) ②午後3時開演/③午後7時開演
入場料：3500円(15歳以上)/3000円(15歳以下) 全席自由
会場：京都府立府民ホールアルティ
源氏物語を創作舞踊劇で表現するところみ! 祭衆の「中島真」も出演

ケロポンズ・クリスマスファミリーコンサート

日時：2008年12月6日(土) 午後6時開場/午後6時30分開演
会場：京都府立文化芸術会館(京都市バス「府立医大病院前」下車すぐ)
入場料：前売り3500円・当日4000円(全席指定) ※ 膝上鑑賞できません。
※チケットはローソンでも発売。(Lコード=55474)
※おなじみ「ケロポンズ」のクリスマスコンサート。今年は一とあし早く京都にやってきます。
楽しいコンサートをご家族でお楽しみください。

京都音楽センター ピアノサービス部門

■ピアノフォーラム 吉田光男 (社団法人日本調律師協会会員)
・ピアノ調律・修理・販売・音楽教室 TEL075-811-8634 FAX075-822-3439
・E-mail/stimmer@mbox.kyoto-inet.or.jp

モーツァルトの曲は軽快で心地よいメロディや軽やかな音の粒が織りなし、親しみやすく多くのファンを持つ。でも演奏する側は「モーツァルトは難しい」とよくいう。技巧的な難しさと違うなにかがあるようだ。

ノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊さんが「アインシュタインはすでに存在する世界に気づいた人、モーツァルトは自らの手で世界を作り上げた人」と朝日新聞の記事で語っていた。モーツァルトの世界ってなんだろう?

三十年以上前のこ



とだが、数年前に亡くなられたギター教室の外池弘先生が「モーツァルトはあの八分音符が理解できないとねえ・・・」と述べていた。教室にはよく音楽好きの人達が集まっていてギターからチェロやフルートに乗り換えてしまった人もいる。そんな人達との談笑の一言である。その頃の私ももちろん居合わせた人もその真意は理解出来なかつたと思う。

小柴さんの記事からモーツァルトの世界と八分音符の関係って何だろう?と考えるようになった。モーツァルトのように群を抜いた天才が表現したものを、素人が見抜けるものではないと思うが、考え続けていると、ふとひらめくこともあつて楽しいものだ。



「七十歳のラブソング」と銘打ったCDアルバム「私に人生といえるものがあるなら」が発売されました。タイトルを見て、笠木透さんを思い浮かべる方はさすがです！ その笠木さんの四枚目となる作品集が冒頭のアルバム。全部で十五曲収録されていますが、不覚にも三曲目で涙が…。

「弱くたって、いいじゃないの／人を傷つけるために／生まれてきたのではありません／人はひとりみんな違う／私は私らしく生きていくのです…」

なんと素朴で、なんと自然でなんてやさしいのでしょうか。フォークソングというのには、元々このように演奏し、歌い、広められていったのかもしれないと、一人考えました。

収録されたどの曲も、ま

るで、ライブ演奏を収録したように普段の演奏や息づかいが感じられます。そして、どの演奏もゆったりと、時間が流れていきます。

最近、笠木さんは「連根の会」を呼びかけ、憲法（とりわけ九条）を守るコンサートや行動を続けておられます。その熱く激しい想いを知らながら、今回のアルバムを聴いていると、「平和を！」とか「戦争反対！」と声高に叫んだり、そのための歌たちを生み出し、歌う必要がない世の中になつて欲しいと思わずにいられませんでした。

もちろん、そのような歌を否定するつもりもないし、今の時代には必要だとも思います。しかし、自然の美しさを歌い、隠そうとしてもあふれ出る人を愛する気持ち、心の葛藤などを言葉やメロディにして表現する事の方が、人間の営みとしては自然な気がします。

つまでも言い続けなければならぬ時代は正常ではないと思います。

とはいえ、「後期高齢者医療制度」「テロ特別措置法」「食の安全」…と、怒りの元は無くなるどころか増え続けています。やはり、自然や愛を歌いながらも、人間らしく生きる条件を奪うものとはたかう必要があるのでしよう。

その笠木さんと仲間たちが十月二十五日と二十六日に京都円山公園音楽堂で「憲法フォークジャンボリー」を開催し、集います。私もそのスタッフの一員として参加します。

「課題は重いが、愉快にやろう」との笠木さんの言葉が嬉しくなります。

愛や自然を歌い、それを奪つものを許さない気持ちを共有したいと思います。

小さなものや
弱いものが
泣くことのない時代に
向かって

口笛を風にのせながら
ライナーノートの笠木さんの言葉に、胸がキーンとなりました。

(Y・T)

なかつライブ

日時：2008年11月9日(日) 開場 18:00 開演 18:30
会場：大阪キタ太鼓広場(阪急「中津駅」高架下)
入場料：2000円(ファンクラブ会員は1000円)
内容：恒例の「なかつライブ」80名限定なのでチケット申込みはお早めに！

祭衆情報

2008 師走公演

日時：①2008年12月20日(土) 開場 18:00 開演 18:30
②2008年12月21日(日) 開場 13:00 開演 13:30
会場：京都府立文化芸術会館(京都市バス「府立医大病院前」下車すぐ)
入場料：5000円(全席指定) ※未就学児の入場はご遠慮下さい。
※今年も年末は「師走公演」でお楽しみください。
「祭衆の和太鼓は最高！」と言ってもらえるようがんばります！



- ◎「祭衆・師走公演2007」のDVD 好評発売中！
- ◎ 定価 3000円(税込) (送料別途250円)
- ◎収録曲…「MOSAIC II (モザイク)」「ZA-KYO (ザキョウ)」「Raudora (ラウドラ)」「はなおと」「音踊 (オドロ)」「隼 (ハヤブサ)」「四面楚歌 (シメンソカ)」「七三 (シチミ)」「金翅鳥 (コンジチョウ)」
- ◎「由良英寛 (hide) の、祭衆最後の師走公演の映像です。

ホームページからの3000円以上の注文は、送料がサービスです。是非ご利用ください。

京都音楽センター 出版案内

ご注文は、お電話 (Tel. 075-822-3437・Fax075-822-3439) かお葉書で、
ホームページ (<http://www.wawawa.ne.jp>) からも注文できます。
お振り込みは郵便振替 [01000-3-23000・京都音楽センター] へ



PAマンで紹介されていたCDです！

私に人生といえるものがあるなら

なんという骨太で 繊細だろう なんという粗雑で 可憐だろう
— 笠木透 70歳のラブソング —

【収録曲】

私に人生といえるものがあるなら／海に向かって／アザミの花／スマイルの
花／雪割草／フクロウの子守唄／海へ行こう／この想い／春の雪／カタク
リの花／夜桜爛漫／ネムの花咲けば／吾も紅／小さなテント／少年の海

CD定価3000円 (税込み) (送料 200円)



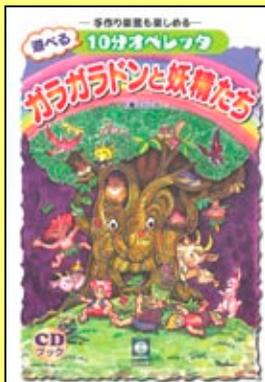
ビクトル・ハラ CDブック 平和に生きる権利

ブックの内容…

- ◎収録曲の詩と対訳 (濱田滋郎訳) ◎うたの根を求めて (濱田滋郎訳)
- ◎ギターよ、銃となって敵を撃て! ~ビクトル・ハラ自叙伝~ (濱田滋郎訳)
- ◎解説 ビクトル・ハラについて (濱田滋郎) ◎チリ訪問記 (横井久美子) ◎楽譜集

【CD収録曲】 平和に生きる権利 / 窓をあけて / 出発・インストゥルメンタル / 農民の子 / 広い道を通って / 鉱山へはもう行かない / キューバに寄せて / 丘の高みの住宅地 / 魂は旗に満たされて / 役立たず / 耕す者への祈り / 人民連合青年隊の歌 / お聞きよ、娘さん / 機織り娘 / 不毛の地から / 詩その15 / 子どもたちの踊り・インストゥルメンタル

CDブック定価3500円 (税込み) (送料 310円)



10分オペレッタ 一手作り楽器も楽しめるー ガラガラドンと妖精たち

- ◎上演時間が10分ほどのオペレッタを3本掲載!
- ◎幼児から小学校低学年まで、行事にすぐ使えるオペレッタです!
- ◎紹介されている手作り楽器をつくって取り組むと、
一歩進んだ取り組みに発展します!

【収録作品】 ①ガラガラドンと子トロールたち
作: 河合正雄 ②キジムナーとみんなであそぼ
③森のともだちコロポックル

付属のCDには、上演用のカラオケも収録されています。
ピアノ伴奏譜付き

CDブック定価3000円 (税込み) (送料 290円)



幼稚園・保育園の先生のためのピアノ伴奏集

せんせい いっしょにうたお〜④

【収録曲】 *はCDにも収録 (CDは全曲カラオケ付き)

しずかにしてね／おにぎりころりん／マンボでぞうさん* (振付図解付) / こねこ
と小鳥／かほちゃ／はぶらしくわえて* / 日本語のおけいこ* / こねこのパン
やさん* / 手あそびかいかい* / いろいろな木の実* / ほかほかてくてく／ぶた
まんごころ* / 気のいいアヒル／僕たちのヒーロー* / アアラの呪文* (ポンポ
ンダンス図解付) / みんなの広場／あつまれ! ファンファンファン* (合奏譜面付)
／川はだれのもの?* (手話振付図解付) / もっと、もっと、Motto!* / 翼を広げ
て* (手話ふう振付図解付) / まあるいいのち*

「歌集」と「CD」が発売されています

歌集定価1500円 (税込み) (送料 290円)

CD定価2000円 (税込み) (送料 200円)